

渡辺ハウジングOBの皆様と
未来のお客様にお届けする

やすらぎ通信

渡辺ハウジング
03-3959-8743



青葉の香りが爽やかな季節となりましたが、如何お過ごしでしょうか？

秋、真っ赤に紅葉したモミジの美しさには感動しますが、初夏

の透けるような葉のみずみずしさには生命力が感じられます。

今まで気付かなかった光景に出会えるのも、
コロナの感染拡大を防ぐために、密を避ける
生活だからこそかもしれません。



5月は過ごしやすい時期ですが、思いがけず寒暖の差が大きい日もあります。

油断せず、どうぞお身体を大切にお過ごしください！

そして、「住宅紛争処理体制の整備」の
3本の柱で成り立っています。



たとえば10年以内に住宅に欠陥が見つかったとしても、補修の義務を負う住宅会社が倒産してしまったら、消費者は、法律で定められた品質確保を保証されないこととなります。

そこで、住宅保証機構が運営する住宅性能保証制度に加入している会社なら、たとえ倒産しても、機構が10年の保証を引き継いでくれます。

「住宅紛争処理体制の整備」とは、
このような仕組みを指しています。



次回に続く

家を建てる段取り（9）

引き続き、家を建てる際に大切な段取りについて書かせていただきます。どんな段階を経て家が完成するのかを楽しみながらご理解いただければ幸いです。

【長く安心して住みたい】

家は、一生の買い物であり、家族が長い時間を過ごす大切な場です。

もし、それが重大な不備のある欠陥住宅だったとしたら、家族の健康や生活を脅かすのみならず、家の資産価値を著しく損なってしまいます。

「自分の家は大丈夫だろうか？」という不安を感じながら生活するのは辛いですね。

そこで、**品確法**（住宅の品質確保の促進等に関する法律）という法律が制定されています。

この法律は、住宅の性能を等級で評価する「住宅性能表示制度」、基礎・柱・壁・屋根などの基本構造部分に瑕疵（欠陥）があった場合、10年以内なら無料で補修を受けられる「**瑕疵担保期間 10年間の義務づけ**」

「てんとう虫」

庭先やベランダでも見かける「てんとう虫」

よく見られるのはナナホシテントウですが、てんとう虫には種類も多く、人の役に立つ益虫もいれば、悪さをする害虫もいます。また、てんとう虫の名前の由来から、幸せのシンボルとも言われています。

「てんとう虫」を漢字で書くと「天道虫」
枝や葉っぱの先端まで行って、行き場がなくなるとパッと上に飛び立つ習性があり、「お天道様に飛んでいく虫」ということでこう呼ばれるようになったとか？
てんとう虫が身体に止まると幸せが訪れる、とも言われ、てんとう虫をモチーフにしたグッズなどを身に付けるのも良いそうです。

赤い背中に黒い点など、てんとう虫はよく目立ちますが、この「派手な色の虫はまずくて食べられない」という印象を外敵に与え、次から狙われないようにするのは、てんとう虫の派手な模様には、自然の中で生き残るための、大切な役割があったのですね。



スーパーで出会った女の子



帰宅途中に夕食用の食材を買うため、いつものスーパーに立ち寄った時のことです。

大変混み合う時間帯の上、ゴールデンウィークを控えて特売品も多く、店内はとても混雑していました。

目当てのものを買い物かごに入れ、レジに並ぼうとするものの、どのレジも長蛇の列で空いているところを探すのに一苦勞。ようやく、やや列の短いところに自分のカートを通りませ、レジ近くのラックに置かれた週刊誌のページをめくりながら自分の順番が来るのを待っていました。

私の前には、3~4歳くらいの女の子を連れて若いお母さんが並んでいました。

レジの打ち込みが終わると、お母さんはレジ係の人に代金を渡し、それから女の子に「ちゃんと、おつりを預かってきてね」と、声を掛け、少し離れた台のところで、購入したものの袋詰めを始めました。



その子は、レジ係の人からおつりを受け取るまでの間、身動きもせず、小さな両手を胸の前にそろえて待っていました。

レジ係の人がレシートと一緒に「はい、おつり。お利口さんね」と声を掛けておつりを渡すと、その子は、そろえた両手をそのままレジ係の人にゆっくりと差し出し、おつりをとても大事なものでも渡されたかのように受け取り、その手を、また、ゆっくりと元の位置まで戻して、そのまま母親のところまで、ソロリソロリと歩いていきました。

その姿は、まるで一つの儀式にでも立ち会っているような感じでした。年頃からしてその子の頭の中には、お金だから大切に、という思いは

特別には無かったと思う。逆に、知っていてそんな大げさに見える所作をしたら、何かいやらしく、滑稽にも見えたのでは？

お母さんの言いつけを守り、それに一生懸命に応えたいというその女の子の純粋な気持ちが、小さな身体から滲み出ていました。その所作は、とても可愛らしく、微笑ましく、清々しく私の目に映り、心が洗われる思いがしました。

私も、普段ならおつりをレシートごとポケットに突っ込むところを、その日は財布にちゃんと収め、2パック買った卵を割らないように気を付けながら家路を急いだのでした。

お金も、お札はめったにしないけれど、小銭はしばしばぞんざいに扱ってしまいがち。



ポケットに入れたままにしたり、何でもない場所に置き忘れてしまったり・・・

この女の子から、お金の大切さを改めて教えられた気がします。(反省) お金は大事です！

「編集後記」

このところ新聞やテレビ等の報道で多く取り上げられる話題は、新型コロナウイルスの感染防止と東京五輪。

コロナは、人命に関ることですので、誰もが無関心ではいられませんね。

ワクチン接種も始まり、医療従事者の皆さんには益々重い負担が増え、感謝の念が募ります。

オリンピックも、できることなら開催して欲しい、とは思いますが・・・賛否両論あり、判断が難しいようです。皆さんは、どうお考えでしょうか？

難しいことは専門家にお任せし、先ずはコロナ感染防止に専念しましょう。健康が一番です。

今月号もお読みいただき有難うございました。



「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。ご希望の方は、アドレスをお知らせください。

編集責任者 渡辺 田鶴子